BACK GROUND

Back Ground

世の中の変化の速度はスピーディーで、その速度も日に日に増している。
人の価値観も、必ずしも一方向に変化していくものでなく、ある日突然、今まで考えてきたものとは、全く違った物事のありかたに置き換えられることも少なくない。複雑で、予測の難しいものである。

Present Condition

現代建築は、
・求められる建物の多様化
・求められる建物の複合化
・建築の定量化
に対応させるため、

1，機能に対して空間を一対一で当てはめていく方法
2，均質な空間を用意してその中のレイアウトを自由にする方法をしてきた。

しかしながら、

1，ひとつの要求に対して、一対一で空間を分割し、ふさわしいと予測されるボックスを当てはめていく機能主義では、変化の速度、複雑な変化の方向性によって機能自体が信用できない現代においては、社会的な理由で起こった機能の変化についていけず、建物が使われなくなり、建物が壊されてしまうという結果を招いている。

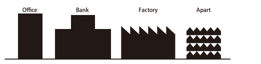
2，ミースは「機能は時とともに変化するから、機能に対応した空間を想定すべきではない」といって「均質空間＝ユニバーサル・スペース」の概念を導き出した。しかし、ユニバーサル・スペースを、二つの機能「空間機能」、「生活機能」に分けて考えると、「空間機能」はほとんど無く「生活機能」のみによって成り立っている。そのため、社会的な要求により、「生活機能」が失われた時、今後の使用を喚起するものはなくなり、また氾濫する多くの均質空間と比べられることとなり、賃貸料の価格競争にも巻き込まれる。またユニバーサル・スペースは均質空間の「生活機能」のレイアウトを自由にしたのみで、人の行為を自由にしたわけではない。

BACKGROUND
Speed of the world of change in the speedy, the speed is also increasing day by day.
Values of humans, and not necessarily as it will change in one direction, suddenly one day, and those which have been considered up to now, not less that is replaced by a completely different things way. Complex, and are difficult to predict.

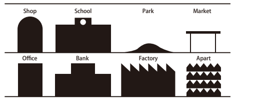
Present Condition
Modern architecture,
And diversification of the building sought
· Sought complex of buildings
- Quantification of the building
In order to correspond to,

1, how will fit the space in the one-to-one correspondence with the function
2, and to the layout of them free by preparing a homogeneous space
That way I've been.

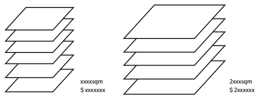
求められる建築の多様化

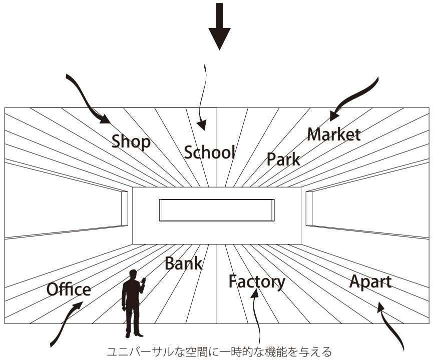


求められる建築の複合化

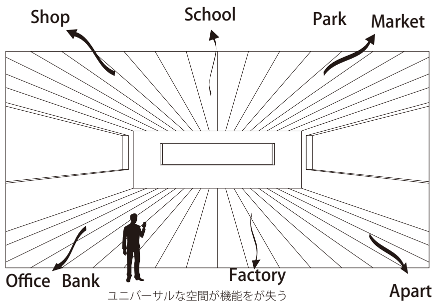


建築の定量化

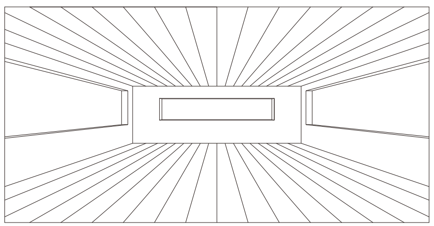




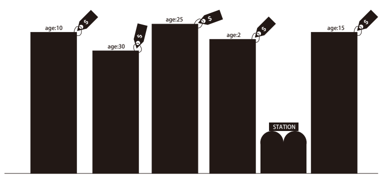
ユニバーサルな空間に一時的な機能を与える



ユニバーサルな空間が機能をが失う



何もない空間になる



氾濫する多くのユニバーサルな空間と競争になる

RESEARCH

Research Classification

そこでリサーチとして、使われかた（プログラム）の変化に対応する柔軟な建築のリサーチ→用途が変わっても使われる建築のリサーチを行った。
分類と考察の前提として以下のことを定めた。
・資料は任意で選択したものであり、明らかに多い場合、少ない場合を除いて、分類の割合は根拠とならない
・分類において、項目の重要度は考慮していない。

So as research, flexible architecture of research → applications corresponding to the change of use is how (program) I went the construction of the research, which is also used changed.
I was determined that: as assumption of classification and discussion.
And materials is intended to be selected optionally when obviously greater, unless less, the ratio of the classification is not the basis
- In the classification, the importance of the item is not considered.

- A. 歴史
  - A1. 歴史的象徴性
  - A2. 歴史的価値
  - A3. 様式
- B. 空間形態
  - Ba.フレキシビリティー
    - Ba1. 高い天井高
    - Ba2. 広い構造スパン
    - Ba3. 連続性
    - Ba4. 延床面積、建築規模
  - Bb. 象徴性
    - Bb1. 形態の象徴性
    - Bb2. 大きさの象徴性
  - Bc. 空間の質
    - Bc1. 特殊な構成
    - Bc2. 新機能との整合性
    - Bc3. 自然光
- C. 社会
  - C1. 構造の健在
  - C2. 立地
  - C3. コスト
  - C4. 開発計画
  - C5. 既存建築のブランド力

Research Discussion

・コンバージョンされている建築は、構造が健全であり、そのまま使用する場合と、少々補修する場合が多い。構造がしっかりしていることが重要。

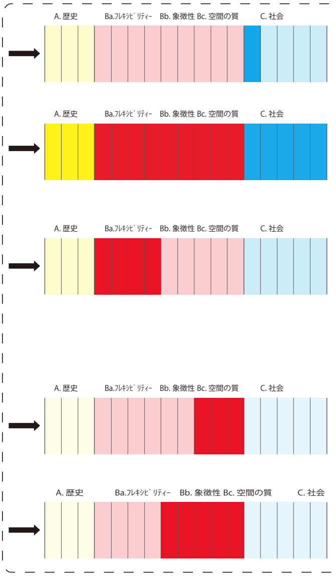
・歴史性や社会性は比重的にはおもいかもしれないが、それだけで成り　立っているのではなく、ほぼ必ず空間や形態に関する理由が関わっている。歴史性や社会性だけでコンバージョンされることは少ない。→形態や空間に特性があるから歴史性や社会的価値が生まれている？

・フレキシビリティーに関することは、ほぼ必ずコンバージョンされた　理由として入っている。

・ユニバーサルなスペースが積層したようなビルのコンバージョンの事　例が少なかった。→コンバージョンしなくて使えるから？

・産業建築の倉庫と工場では自然光の入り具合に合った機能の配置がされていた。倉庫の場合、自然光が少なく暗い機能として使われ、工場の場合（電気が無かった時代は自然光によって採光をとっていたため）　開かれた機能の選択がされている。空間の質が使われ方を喚起する。

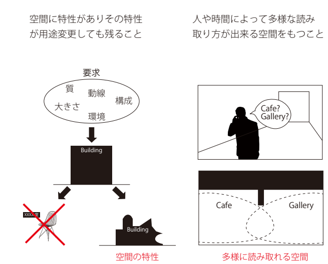
・あまり歴史、社会的な理由が無い建築では、空間・形態の象徴性、空間の質が重要になっている。



Design Concept

この一連のリサーチの結果から用途が変わっても、使われている建築は、
・構造がしっかりとしていること
・人や時間によって多様な読み取り方が出来る空間をもつこと
・空間に特性がありその特性が用途変更しても残ること
ということがわかる。

求められる要求に対してこの３点のデザインコンセプトを用いることで、変化に飛んだ社会の中で生き続け、使用され続ける建築が出来る。



Research Classification Date

名称	A1	A2	A3	Ba1	Ba2	Ba3	Ba4	Bb1	Bb2	Bc1	Bc2	Bc3	C1	C2	C3	C4	C5	種類
AEGフムボルトハイン工場		✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓	✓				✓	産業
CMA-1				✓		✓				✓			✓					スタジオ
graf A to Z		✓		✓	✓	✓	✓		✓				✓					産業
THE GATE				✓	✓	✓	✓	✓					✓			✓		産業
YA-CHI-YO									✓	✓			✓					産業
アート・センター・カレッジ・オブ・デザイン・南				✓	✓		✓			✓			✓			✓		研究
アジア美術館		✓		✓			✓						✓					公共
アラビア・ファクトリ				✓	✓		✓	✓					✓					産業
アルマーニ・テアトロ				✓	✓		✓						✓					産業
イーヴェルク					✓	✓	✓			✓			✓					公共
インフォメーション・センターC74						✓							✓					産業
パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ建築大学校		✓		✓	✓	✓	✓	✓					✓					産業
ヴァン・アレン・アパート		✓								✓			✓			✓		商業
ヴィアデュク・デ・サール	✓	✓		✓		✓		✓		✓			✓	✓				交通
ヴィッテン文化センター		✓		✓			✓											邸宅
ウォルシュ・ベイ		✓		✓			✓	✓					✓					産業
オーストラリアン・テクノロジーパーク	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓				交通
オランジェリー美術館				✓	✓	✓						✓	✓	✓				産業
カアペリ	✓			✓	✓	✓	✓			✓	✓	✓	✓			✓		産業
ガソメーター	✓	✓		✓	✓		✓	✓	✓	✓						✓		産業
カピトリーニ美術館	✓		✓	✓	✓					✓								産業
ギャルリー・コルベール	✓	✓	✓	✓		✓	✓			✓	✓		✓				✓	邸宅

名称	A1	A2	A3	Ba1	Ba2	Ba3	Ba4	Bb1	Bb2	Bc1	Bc2	Bc3	C1	C2	C3	C4	C5	種類
シドニー・カスタマーズ・ハウス		✓											✓				✓	産業
ジャンフランコ・フェレ本社	✓		✓	✓	✓		✓						✓					オフィス
ジャンポール・ゴルチェ本社屋	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓					✓					オフィス
ステークス・アンド・セナト社屋							✓	✓		✓			✓					産業
するところ				✓	✓								✓					産業
ダニエラ・ブッパ・デザイン	✓			✓	✓		✓					✓	✓					工場
チェルシー・マーケット					✓	✓	✓			✓								産業
ディア・ビーコン				✓	✓		✓	✓				✓	✓					産業
テート・モダン	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓				産業
デュースブルク近代美術館		✓		✓	✓		✓	✓					✓			✓		産業
トゥスコラ美術館			✓	✓	✓		✓	✓		✓			✓					産業
トゥルク・アート・アカデミー	✓			✓	✓		✓	✓	✓			✓	✓					交通
トランプ・インターナショナル・ホテル							✓						✓	✓	✓			オフィス
トリノ公文書館				✓	✓		✓	✓		✓	✓		✓					医療
ニューヨーク・パブリック・ライブラリーSIBL				✓			✓					✓	✓					商業
ニューヨーク市立大学バールク・カレッジ				✓			✓			✓		✓			✓			交通
バーナム・ホテル		✓											✓	✓			✓	オフィス
パヴィヨン・ド・ラスナル		✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓			✓					展示
ハンブルク駅現代美術館	✓			✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓	✓				交通
ハンブルク芸術協会				✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓					商業
ピタード・サリヴァン・ビル				✓	✓		✓	✓					✓			✓		産業
ピンポンギャラリー					✓	✓				✓			✓			✓		スポーツ
フィラデルフィア・アーツ・バンク		✓		✓	✓				✓				✓	✓				商業
フィラデルフィア・コンベンション・センター	✓			✓	✓		✓	✓	✓				✓	✓				交通

名称	A1	A2	A3	Ba1	Ba2	Ba3	Ba4	Bb1	Bb2	Bc1	Bc2	Bc3	C1	C2	C3	C4	C5	種類
フィンガー・ワーフ	✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓			✓				✓	産業
フェリー・ビルディング		✓		✓	✓	✓	✓	✓		✓		✓	✓	✓				交通
フォーシーズンズ・ミラノ		✓	✓				✓			✓	✓		✓					修道院
ベネッセアートサイト直島オフィス				✓	✓		✓						✓			✓		商業
ヘルシンキ・ポリテクニク・スタディア	✓			✓		✓	✓	✓		✓	✓		✓					産業
ヘルシンキ裁判所	✓			✓	✓		✓		✓	✓	✓		✓				✓	産業
ポスト・オフィス・パヴィリオン	✓						✓	✓					✓					公共
ホテル・シュプリーボーゲン		✓			✓	✓	✓			✓			✓					産業
マハミット子供体験博物館	✓			✓	✓							✓	✓			✓		教会
マルケッルス劇場	✓	✓	✓				✓			✓	✓						✓	公共
みちのく風土館				✓	✓			✓		✓		✓	✓	✓				産業
メゾン・シュジェール	✓									✓			✓					教育
モンゴメリ・キャンパス				✓	✓	✓	✓					✓	✓					産業
リボリ現代美術館		✓	✓			✓	✓	✓					✓					城郭
リンゴット	✓				✓	✓	✓		✓	✓		✓	✓			✓		産業
レッド・ドット・デザイン・ミュージアム	✓	✓		✓		✓		✓	✓				✓					産業
ローマ国立博物館	✓	✓		✓	✓		✓	✓		✓		✓	✓					公共
ローマ市立現代美術館				✓	✓	✓	✓						✓					産業
ロックス・スクェアー	✓	✓		✓	✓		✓		✓				✓			✓		住宅
茨城県立図書館				✓			✓	✓		✓			✓					公共
MK2セーヌ海岸館		✓		✓	✓		✓	✓					✓					スタジオ
奥備中風土記館				✓	✓	✓	✓	✓	✓				✓					産業
横浜アイランドタワー	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓					✓			✓		商業
横浜赤レンガ倉庫	✓	✓		✓	✓		✓		✓				✓			✓		産業

名称	A1	A2	A3	Ba1	Ba2	Ba3	Ba4	Bb1	Bb2	Bc1	Bc2	Bc3	C1	C2	C3	C4	C5	種類
旧牛込原小学校							✓			✓			✓	✓				教育
京王八王子山川クリニック				✓	✓	✓	✓			✓	✓		✓	✓				商業
桐蔭学園メモリアルアカデミウム	✓	✓		✓	✓	✓	✓						✓					公共
笹田学園田町校舎							✓						✓	✓		✓		オフィス
山梨市庁舎				✓	✓	✓	✓		✓		✓		✓					産業
実験装置masia2008		✓		✓									✓					住宅
上京のデイケアセンター		✓		✓	✓			✓					✓					住宅
新風館		✓			✓	✓	✓						✓				✓	公共
南カルフォルニア建築学校				✓	✓		✓			✓			✓					産業
八女市多世代交流館「共生の森」				✓	✓		✓					✓	✓					公共
名水市場　湧太郎		✓		✓	✓			✓				✓				✓		産業
野津原町多世代交流センター											✓		✓		✓			公共
薬物中毒患者センター				✓	✓					✓	✓	✓	✓					産業

SITE

Summary

敷地は千葉県習志野市奏の杜。この地域は津田沼駅南口の住宅地開発によって生まれた街である。一度に７０００人規模の人口増加が見込まれている。
敷地の問題点として一度に同世代（子育て世代とその子供世代）が増えて様々な公共施設が不足することがあげられる。特に教育系の公共建築の不足は一時的であり、単一の用途の建築は建てられることが難しい。
提案として、用途が変わっても使われる建築をつくる。リサーチの結果から得た「要求に対して空間機能を用いて、建物に特性を持たせる」を用いて設計する。予想される用途の中で、もっとも確実で、試用期間が長いと考えられる交通拠点機能を有した公共複合施設に対して空間の特性をつくる。

Transportation Planning

将来の高齢化社会や環境問題は、増加する交通弱者、現在の自動車を個人所有する社会の終わりを生む。そして公共交通の需要が高まる。しかしながら、違う路線の電車の駅を行き交うだけの現在のバス路線では多くの交通弱者を生んでしまう。小学校の単位、つまり誰もが歩ける範囲に交通拠点をもったまちづくりが必要である。そのための施設、地域の核になる交通ターミナルを有した複合公共建築を計画する。
この施設は交通網の拠点として働く。管理は公共、一部民間に委託して商業施設を有する。バスの待ち時間を利用して、買い物、食事、図書館で本を読みながらバスを待つことが出来る。ギャラリーでは様々な展示会や活動が行われ、地域に活気をもたらす。

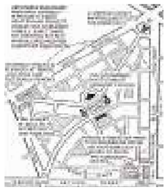
公共施設

保育園	小中学校	老人ホーム	公共交通
不足	不足	不要	不要

30 years ago ↓

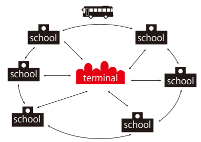
保育園	小中学校	老人ホーム	公共交通
不要	不要	不足	不足

計画

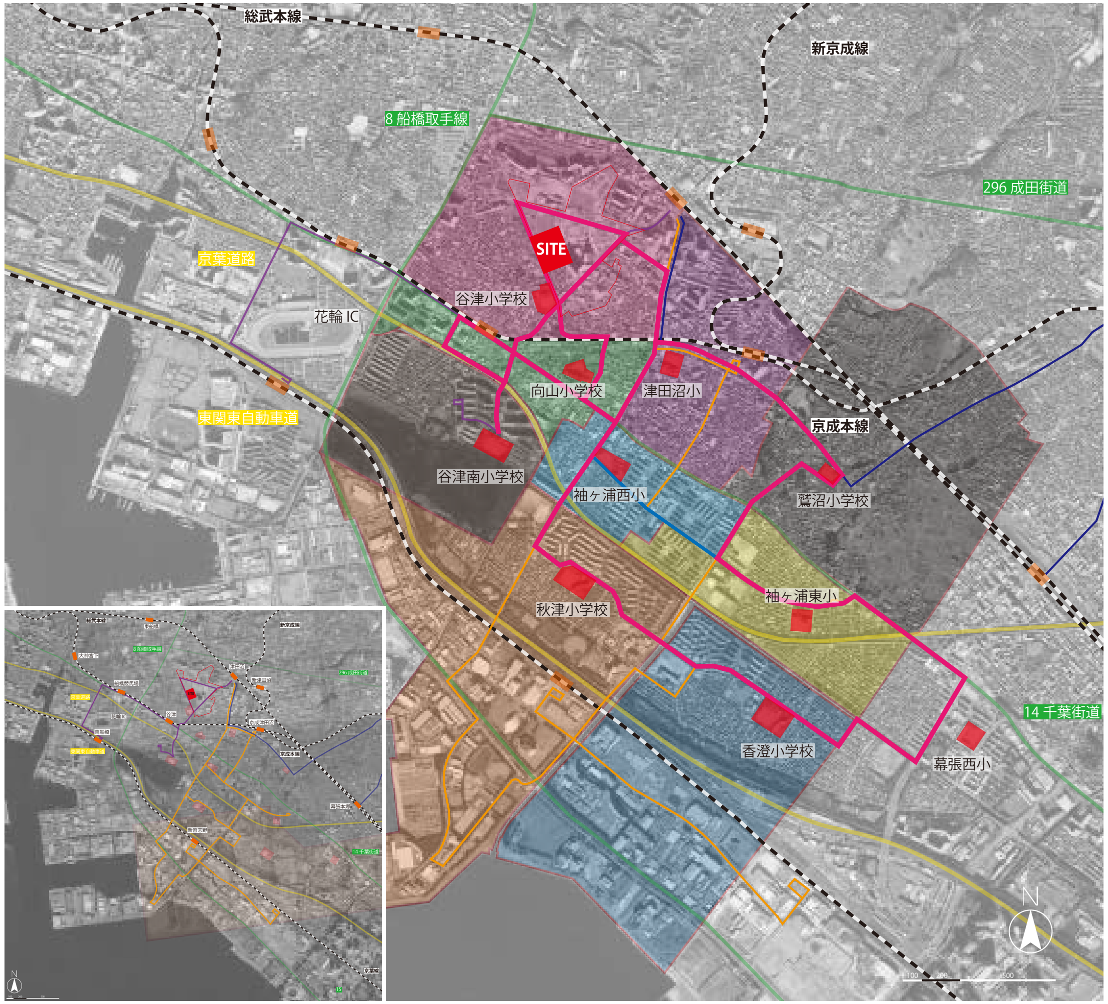


小学校の学区単位の歩ける町づくり

計画



小学校の学区単位の公共交通網

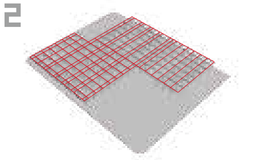


Design Diagram

1

周辺の環境とのゾーニング

2

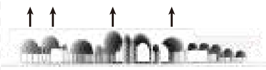


構造の単位を与える

3

単一の形態を与え反復させる

4

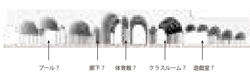


空間の要求に合わせたスケールを与える

5

空間の要求に合わせた開口を与える

6

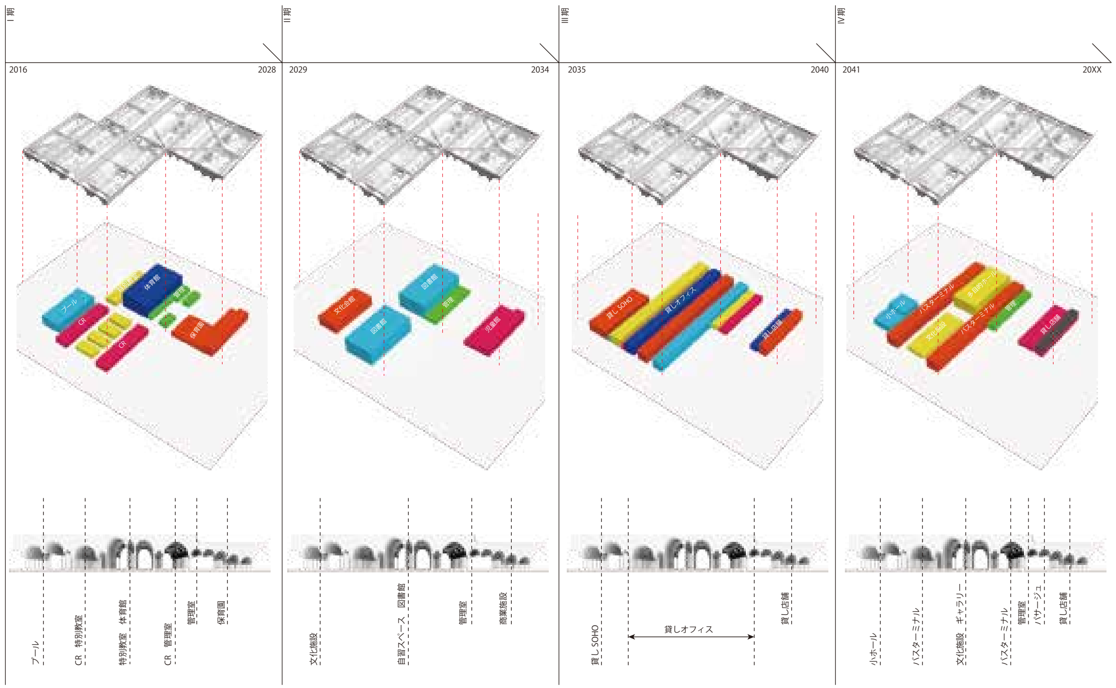


使用をシュミレーションして設計

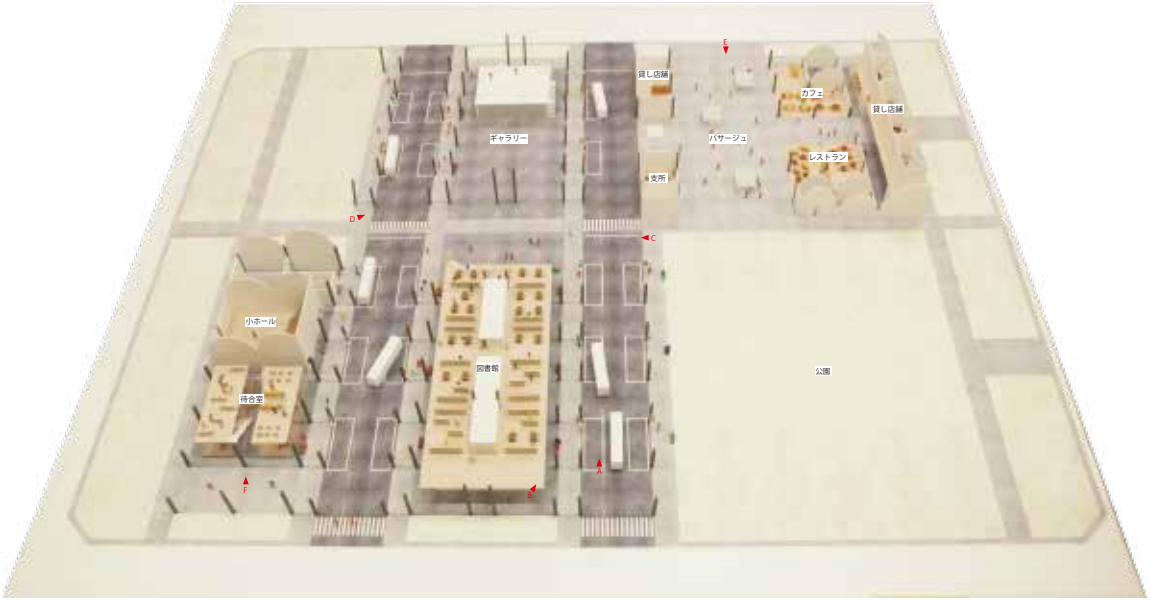
Timeline

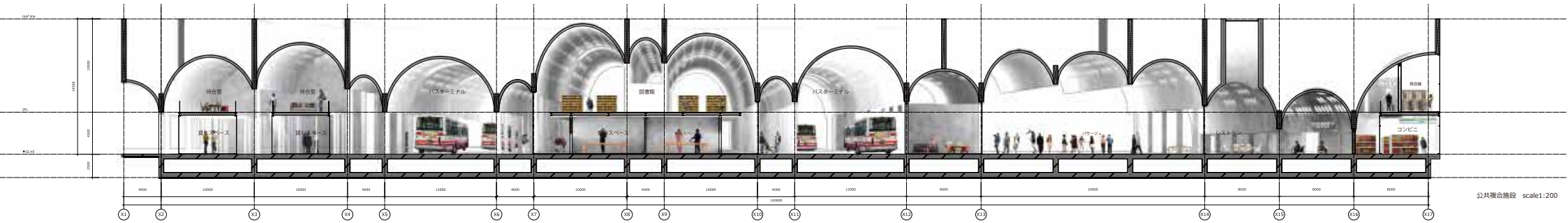
	項目 ＼ 年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
					Ⅰ期												
習志野市世代別人口推計	0-6 歳人口	10326	10421	10631	10750	10684	10567	10283	9975	9628	9244	8916	8618	8395	8203	8069	7976
	0-6 歳割合	6.24%	6.25%	6.26%	6.25%	6.17%	6.09%	5.92%	5.75%	5.55%	5.33%	5.15%	4.99%	4.87%	4.78%	4.71%	4.67%
	7-12 歳人口	9211	9120	9121	9129	9143	9177	9320	9428	9419	9475	9394	9339	9088	8827	8527	8163
	7-12 歳割合	5.57%	5.47%	5.37%	5.31%	5.28%	5.29%	5.37%	5.43%	5.43%	5.47%	5.43%	5.41%	5.28%	5.14%	4.98%	4.78%
	13-24 歳人口	19648	19226	19836	19905	20093	20057	20105	20071	20099	20126	20116	19920	19887	19646	19837	19860
	13-24 歳割合	11.88%	11.53%	11.68%	11.57%	11.61%	11.56%	11.58%	11.56%	11.59%	11.61%	11.63%	11.54%	11.55%	11.57%	11.59%	11.64%
	25-64 歳人口	91615	92067	92832	93849	94004	94144	94120	94230	94267	94337	94365	94170	94584	98050	94383	94089
	25-64 歳割合	55.39%	55.20%	54.68%	54.56%	54.33%	54.26%	54.21%	54.27%	54.34%	54.44%	54.55%	54.55%	54.92%	55.05%	55.13%	55.15%
	64 歳以上人口	34599	35963	37361	38363	39107	39572	39800	39917	40066	40113	40196	40589	40263	40311	40377	40527
	64 歳以上割合	20.%	21.%	22.%	22.%	22.%	22.%	22.%	22.%	23.%	23.%	23.%	23.%	23.%	23.%	23.%	23.%
	人口合計	165399	166797	169781	171996	173031	173517	173628	173621	173479	173295	172987	172636	172217	171711	171193	170615
近隣小学校クラス数	谷津小学校建替え			→	３６クラス化 →	→	→	→	既存校舎解体								
	第一中学校増築										→	１０クラス増築 →	→				
	クラス数合計	26	28	32	34	37	42	47	49	53	55	56	55	51	47	43	39
	不足クラス数	0	0	0	2	5	10	11	13	17	19	20	19	15	11	7	3
	谷津小クラス数	26	28	32	22	25	30	35	35	35	37	38	37	37	35	31	27
	本計画クラス数				12	12	12	12	14	18	18	18	18	14	12	12	12
施設利用形態	小学校利用				→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	公園利用																
	児童館利用																
	図書館利用																
	オフィス利用																
	展示施設として利用																
	交通拠点兼公共複合施設																

	項目 ＼ 年度	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041
		Ⅱ期						Ⅲ期						Ⅳ期
習志野市世代別人口推計	0-6 歳人口	7904	7872	7847	7832	7830	7836	7840	7834	7827	7815	7798	7776	7746
	0-6 歳割合	4.65%	4.65%	4.65%	4.67%	4.69%	4.71%	4.74%	4.76%	4.78%	4.80%	4.82%	4.83%	4.84%
	7-12 歳人口	7870	7590	7374	7202	7064	6965	6897	6859	6839	6825	6823	6828	6831
	7-12 歳割合	4.63%	4.%	4.37%	4.29%	4.23%	4.19%	4.17%	4.17%	4.18%	4.19%	4.22%	4.24%	4.27%
	13-24 歳人口	19750	19723	19644	19492	19195	18898	18502	18163	17674	17213	16757	16281	15886
	13-24 歳割合	11.62%	11.65%	11.65%	11.62%	11.49%	11.37%	11.19%	11.04%	10.80%	10.58%	10.35%	10.12%	9.92%
	25-64 歳人口	93711	93070	92214	91438	90436	89235	88138	86780	85647	84295	82971	81886	80764
	25-64 歳割合	55.14%	54.97%	54.70%	54.49%	54.15%	53.69%	53.30%	52.76%	52.34%	51.80%	51.27%	50.88%	50.46%
	64 歳以上人口	40724	41066	41505	41847	42471	43271	43989	44856	45653	46597	47480	48171	48841
	64 歳以上割合	23.%	24.%	24.%	24.%	25.%	26.%	26.%	27.%	27.%	28.%	29.%	29.%	30.%
	人口合計	169959	169321	168584	167811	166996	166205	165366	164492	163640	162745	161829	160942	160068
近隣小学校クラス数	谷津小学校建替え													
	第一中学校増築													
	クラス数合計	35	33	31	28	26								
	不足クラス数	0	0	0	0	0								
	谷津小クラス数	35	33	31	28	26								
	本計画クラス数	0	0	0	0	0								
施設利用形態	小学校利用													
	公園利用	→	→	→	→	→	→							
	児童館利用	→	→	→	→	→	→							
	図書館利用	→	→	→	→	→	→							
	オフィス利用							→	→	→	→	→	→	
	展示施設として利用							→	→	→	→	→	→	
	交通拠点兼公共複合施設													→



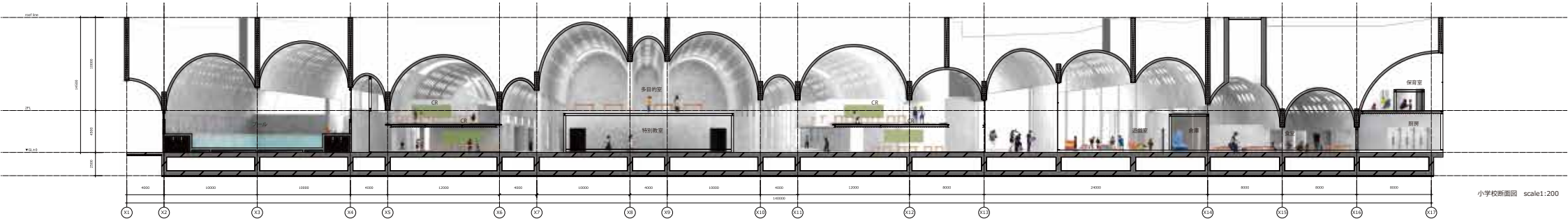
A B
C D
E F





公共複合施設　scale1:200

A B
C D
E F



小学校断面図　scale1:200